

## 佐賀病院

基本理念 <赤ちゃんからお年寄りまで患者さんにやさしい病院、家族に対しても思いやりのある病院、そして質の良い医療が提供できる病院をめざします>

病院紹介文 佐賀市の中心部より北西約 2k m、JR 佐賀駅からは北方約 1k mの地点に位置しており、九州自動車道の佐賀大和インターチェンジからは国道 263 号線を南に約 6k m下った非常に交通の便の良い場所にあります。診療エリアは佐賀県中部を主として南部全般及び東部・北部の一部を抱えており、診療エリアの人口は約 80 万人です。「国立病院・診療所の再編成計画」において「がん・成育専門医療施設」として位置づけられており、平成 22 年 9 月 1 日には、佐賀県唯一の総合周産期母子医療センターとして認定を受けました。現在特定 2 次救急医療施設としての機能も担っていますが、新型コロナウイルス感染症に対しても佐賀県中部を中心に、軽症～中等症患者の受け入れ施設として重要な役割を果たしております。

### 【施設概要】 2023.7.1（データは 2022 年度実績）

1. 所在地 〒849-8577 佐賀県佐賀市日の出一丁目 20-1
2. 特徴 総合周産期母子医療センター・地域医療支援病院・救急告示病院・DPC 対象病院
3. 診療科 20 診療科  
【外科系】外科、乳腺外科、消化器外科、整形外科、形成外科、脳神経外科  
【内科系】内科、消化器内科、循環器内科、小児科、精神科  
【外科系・内科系以外】皮膚科、泌尿器科、眼科、産婦人科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科、耳鼻咽喉科、病理診断科  
病床数 292 床（一般）；8 病棟
4. 薬剤師数（定数：11 名）  
薬剤部長 1 名、副薬剤部長 1 名、主任 3 名、薬剤師 6 名、助手 1 名
5. 主な業務  
(ア) 調剤 入院 31,699 枚/年、外来 30,619 枚/年（院外処方率 88.6%）  
(イ) 注射 入院 47,052 枚/年、外来 5,068 枚/年  
(ウ) 薬剤管理指導件数 5,015 件/年（417 件/月）  
(エ) 無菌製剤処理料 I；794 件/年（うち閉鎖式使用 20 件/年）、II；111 件/年  
(オ) 外来腫瘍化学療法診療料 1 460 件/年  
(カ) 病棟薬剤業務 実施 1；14,194 件/年（1,182 件/月）、2；4,474 件/年（372 件/月）  
(キ) チーム活動 ICT(感染対策防止加算 1 令和 4 年 4 月より感染対策向上加算 1)、NST、緩和ケア、がん
6. 特徴的な業務 NICU 病棟における病棟薬剤業務
7. 2022 年度の取り組み 医師の働き方改革対策（タスクシフト・シェア）、COVID-19 関連薬剤・ワクチンの情報収集、管理、運用

## 8. システム・設備

項目	有・無
電子カルテ	○
自動錠剤分包機	○
散剤監査システム	○
水剤監査システム	×
散剤分包機	○
安全キャビネット	○
クリーンベンチ	○

### 令和5年度 病院目標

目標：社会の変化に対応できる筋肉質な急性期病院として総合力を発揮し健全経営を目指す

- 健全経営の確立
- スキルアップを図り、効率的に良質な医療を提供する
- 医療技術の変化に伴い更に良質な医療の実現と継続

### 令和5年度 薬剤部目標

目標：健全経営のもと優しさの追及、更に良質な医療を目指すため、スキルアップを図る

- 健全経営の確立
  1. 薬剤管理指導の充実
  2. 病棟薬剤業務の充実  
プレアボイド、副作用報告の推進
  3. 後発医薬品採用促進
  4. 適正医薬品在庫
  5. 診療報酬改定への対応
- 社会の変化に対応する
  1. 医師等の業務負担軽減
  2. 業務分担の見直し、勤務時間管理の工夫、チーム医療の推進など
  3. 薬薬連携の推進
  4. 感染防止対策の推進
  5. 災害時も安定した病院機能を維持する運用の確立
- 医療環境の変化に伴い更に良質な医療の継続
  1. 医療安全の推進
  2. 長期実務実習受け入れの推進
  3. 薬剤師確保への更なる取り組み

○医療技術の変化に伴い更に良質な医療の実現と継続

1. 認定・専門薬剤師取得に向けてのボトムアップ及びレベルアップ
2. 研究の推進
3. 治験開始への取り組み
4. 学会発表（総合医学会など）
5. 論文投稿